

史跡 大森勝山遺跡 (弘前市)



岩木山北東麓の標高約145mの舌状丘陵上の先端に立地する、日本国内でも数少ない縄文時代晩期前半(紀元前1,000年頃)の環状列石を中心とする遺跡です。



環状列石

台地上を整地した後、円丘状に盛土し、その縁辺部に77基の組石を配置しており、長径48.5m、短径39.1mのやや楕円形に造られています。組石の配置など、他の環状列石と異なる様相は、縄文時代における大規模記念物の展開と変遷を示す物証として極めて重要です。



2007年の発掘調査時の空撮



大型竪穴建物跡

1959年の発掘調査時に撮影。環状列石から岩木山方向へ約100mに位置し、直径は約14mの規模があります。調査当時から凹地となっていたもので、約3,000年の時を経て埋まりきらなかった大型の建物跡です。

岩木山と大森勝山遺跡

遺跡は、冬至に太陽が岩木山山頂へと沈む地点に立地しており、また、環状列石から南西約100mに位置する大型竪穴建物跡が、その後方直線上に岩木山を望む地点に構築されているなど、環境への精緻なまなざしに基づく計画的な土地利用形態を示す顕著な見本といえます。



現在の状況

土器埋設遺構



環状列石の南西約40mに位置し、子供用の墓と考えられています。

円盤状石製品

環状列石及びその周辺から約250点出土しています。環状列石に関連する祭祀に用いられたと考えられます。



石組炉



環状列石の北東に位置する石組炉です。石組炉は北側からも発見されており、いずれも環状列石から約15mの位置に作られています。



捨て場

環状列石の北東約50mに位置し、縄文時代晩期前半の土器や石器などの遺物が大量に捨てられた場所です。



大森川

遺跡の北側を流れる川です。流域にはたくさんの輝石安山岩が分布しており、環状列石の組石に使われた石の大半は、この河川から供給されたものと考えられています。

DATA 基本情報

見学施設 裾野地区体育文化交流センター

〒036-1202 弘前市十面沢^{とつらぎわくつ}8-9

開館時間 9:00～21:00 (月曜日、年末年始休み)

見学料金 無料

詳しい情報はここから→

